

平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果について

下松市教育委員会

全国学力・学習
状況調査の結果
公表

平成31年度全国学力・学習状況調査（平成31年4月18日実施）の結果についてお知らせします。

本調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、学力の状況や児童生徒の生活習慣、学習環境等の状況を把握するとともに、児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善に役立つものです。本年度は、国語、算数・数学、英語が実施され、合わせて児童生徒質問紙により、生活習慣等に関する調査が行われました。

なお、今年度から、A問題、B問題という区分が無くなりました。

山口県の結果

小学校	平均正答率	
	全 国	山口県
国 語	63.8	68
算 数	66.6	67

中学校	平均正答率	
	全 国	山口県
国 語	72.8	74
数 学	59.8	61
英 語	56.0	55

下松市の結果

下松市の平均正答率は、小・中学校ともに全ての教科において、全国、山口県の平均正答率を上回る結果となっています。

教科に関する
結果

◎：相当数の児童生徒ができている点 ▲：課題のある点

小学校
国 語

- ◎ 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むこと
- ▲ 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと



小学校
算 数

- ◎ 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること
- ▲ 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を言葉を用いて記述すること



中学校
国 語

- ◎ 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと
- ▲ 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと

中学校
数 学

- ◎ 図形の平行移動の意味を理解していること
- ▲ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること



中学校
英 語

- ◎ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ること
- ▲ 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くこと



児童生徒質問紙
調査の結果

望ましい
状況

課題と
見られる状況

- ◎ 「朝食を毎日食べている」と答えた児童生徒の割合が高いこと
- ◎ 小学校で、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と答えた児童の割合が高いこと
- ◎ 中学校で、「読書が好き」と答えた生徒の割合が全国や県に比べて高いこと

- ▲ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた児童生徒の割合が低いこと
- ▲ 「新聞を読んでいる」と答えた児童生徒の割合が低いこと



クロス集計に
よる結果

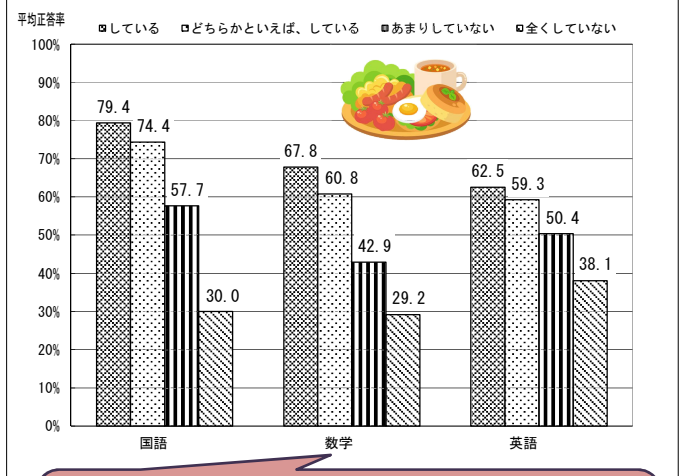
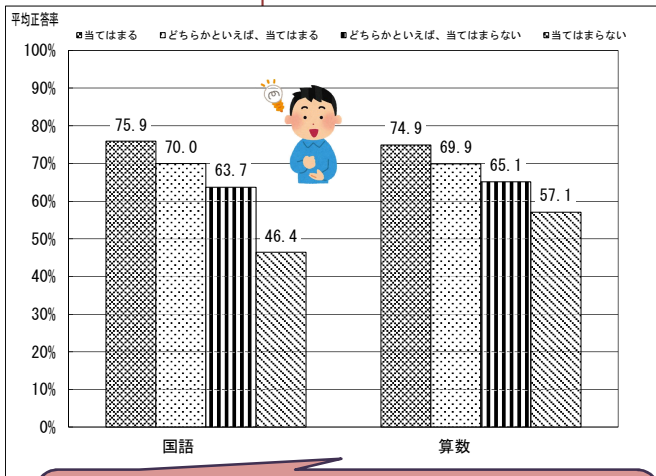
* クロス集計とは、「児童生徒質問紙」と「各教科の平均正答率」との関係性を調べたものです。

小学校

中学校

授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか

朝食を毎日食べていますか



「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と答えた児童ほど、平均正答率が高い傾向が見られます。

「朝食を毎日食べている」と答えた生徒ほど、平均正答率が高い傾向が見られます。

今後の取組

★ 学 校

- 学校の組織的取組の強化
(教科・学年の枠を超えた研修の推進、学力向上プランの見直し・改善、中学校区における小中連携の取組等)
- 児童生徒の「学習力」の向上をめざす授業改善
(「キラリくだまつ授業づくり」の活用、誤答分析を生かした授業改善等)
- 校内研修の活性化と指導の充実
(「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業や研修の充実、「やまぐち学習支援プログラム」や「学力定着状況確認問題」の活用、個に応じた補充学習等)

★ 家庭・地域

- 学習・生活習慣の確立
(「家庭学習の手引き」等の活用、家庭における生活習慣の見直し等)
- コミュニティ・スクールを生かした学習支援
(地域の人材による支援等)

★ 下松市教育委員会

- 「キラリくだまつ授業づくり」の実践事例の紹介
- 課題と考えられる状況等の情報提供
- 学校訪問等による指導・助言
- 「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりに関する指導・助言
- 下松市学習指導実践研究校の指定
- 下松市教育研究所における実践研究とその普及